

IntimateMerger

株式会社インテイメート・マージャー
東証マザーズ（証券コード：7072）

2021年9月期

通期決算説明資料

データ活用における革命を起こす

2021/11/12

INDEX

- Executive Summery**
1. エグゼクティブサマリー P3
- Financial Results for FY2021**
2. 2021年9月期 通期業績 P6
- FY2022 Outlook**
3. 2022年9月期 通期業績予想 P10
- Q4 Topics**
4. Q4トピックス P12
- About Intimate Merger**
5. 会社概要・事業内容 P15
- Appendix**
6. 参考資料 P25



Executive Summary

エグゼクティブサマリー

総括

ポストCookieソリューションのパートナー連携が進捗

広告主、パブリッシャー、パートナーと、
多くのレイヤーとの取り組みが進行中

主要KPI

- 総アカウント数：**4,380件** **YonY : 56%増加 ↑**
 - 順調に総アカウントが増加
 - 特にPerformance DMP はQonQ : 15%増加
- マーケティング支援売上：**254百万円** **QonQ : 5%増加**
 - マーケティング支援は、3Qから引き続き単価上昇傾向
 - ポストCookieソリューションを含む新たな顧客ニーズを捉えたことが奏功し、売上高は改善トレンド

トピックス

ポストCookie

- ポストCookie時代に対応した広告配信技術を株式会社ジーニーへ提供。「IM-UID」と「GENIEE DSP」、「GENIEE SSP」との連携を開始。

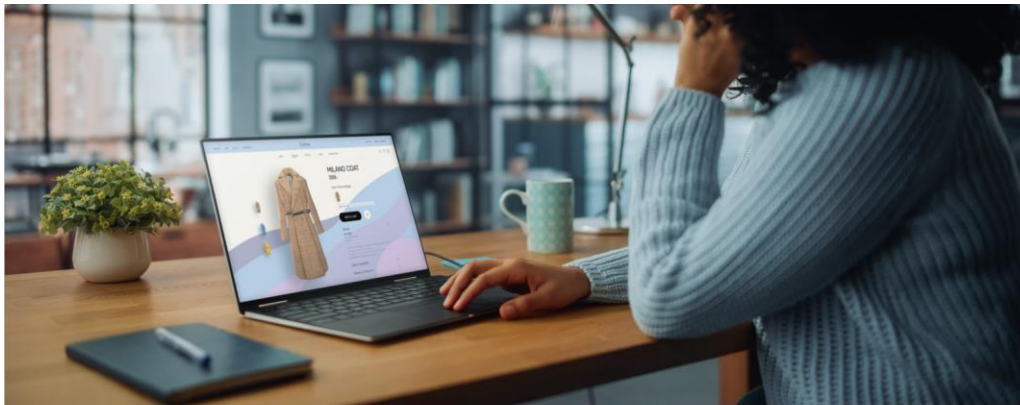


ポストCookie

- ポストCookie時代に向けて株式会社インテージと業務提携。デジタルマーケティングやデータマーケティング領域での共同サービス開発を目指す。



当社の**中長期的なビジョン**を多くの投資家に伝えるべく「**中長期事業戦略の説明資料**」を開示。
現在注目を集める「**ポストCookie領域**」や「**X Tech領域**」でプレゼンスを高めていく。



IntimateMerger

2021/11/12

東証マザーズ (証券コード: 7072)

株式会社インティメート・マージャー

中長期 事業戦略の説明資料

資料

中長期事業戦略の説明資料

開示日

2021年11月12日

URL

[IRライブラリー](#)



Financial Results for FY2021

2021年9月期 通期業績

上半期のマーケティング支援における単価減少の影響を受け、売上高は1.2%減少。

一方で、リモートワーク継続による販売管理費の減少、株式売却益等により、当期純利益は48.4%増加。

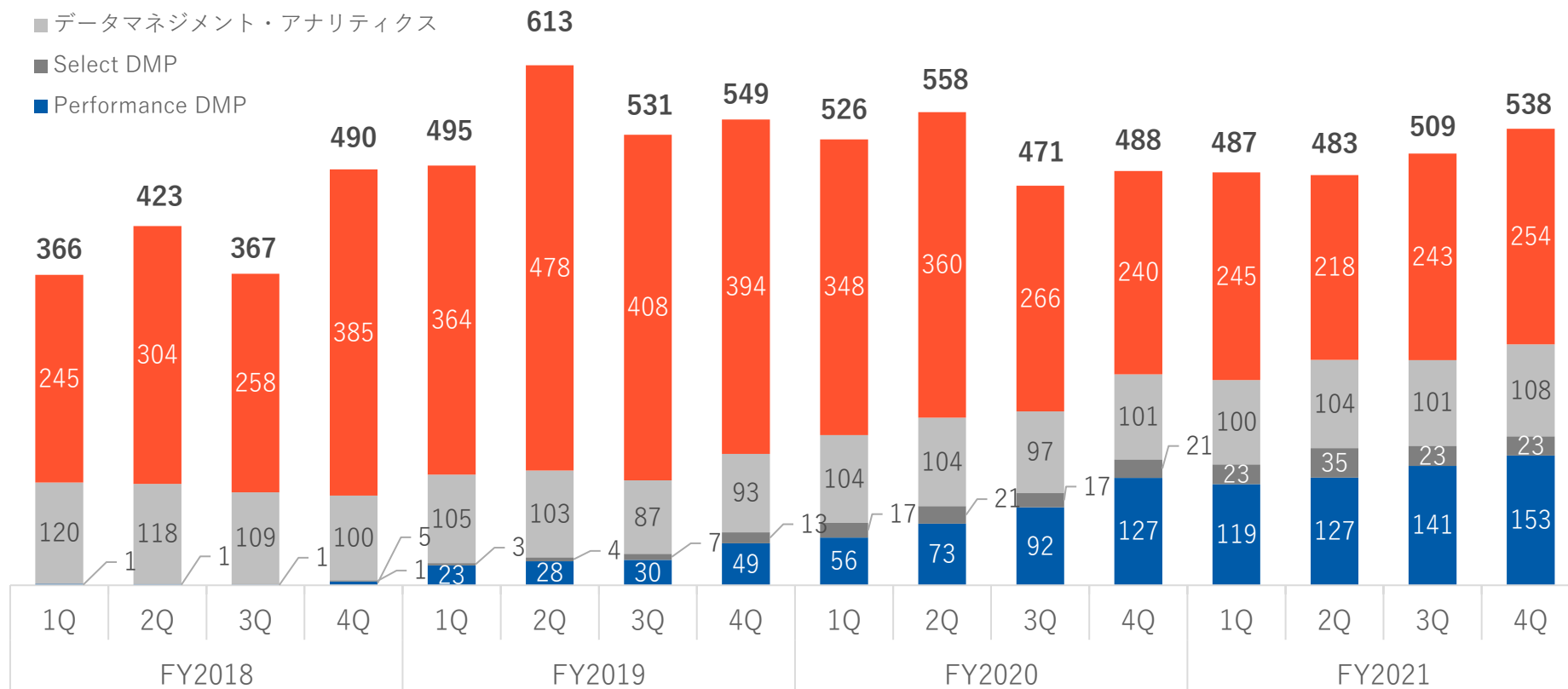
(百万円)

	FY2020 通期累計	FY2021 通期累計 <small>※2020年第2四半期より連結決算</small>	YonY	
			増減額	増減率
売上高	2,042	2,017	△25	△1.2%
売上総利益	641	602	△39	△6.1%
(売上総利益率)	31.4%	29.9%	—	△1.6%
販売管理費	584	550	△33	△5.8%
営業利益	57	51	△5	△9.7%
(営業利益率)	2.8%	2.6%	—	△0.2%
経常利益	36	39	+3	+9.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	20	29	+9	+48.4%
(当期純利益率)	1.0%	1.5%	—	+0.5%

顧客単価の改善トレンド継続により、マーケティング支援売上高がQonQでは5%増加。

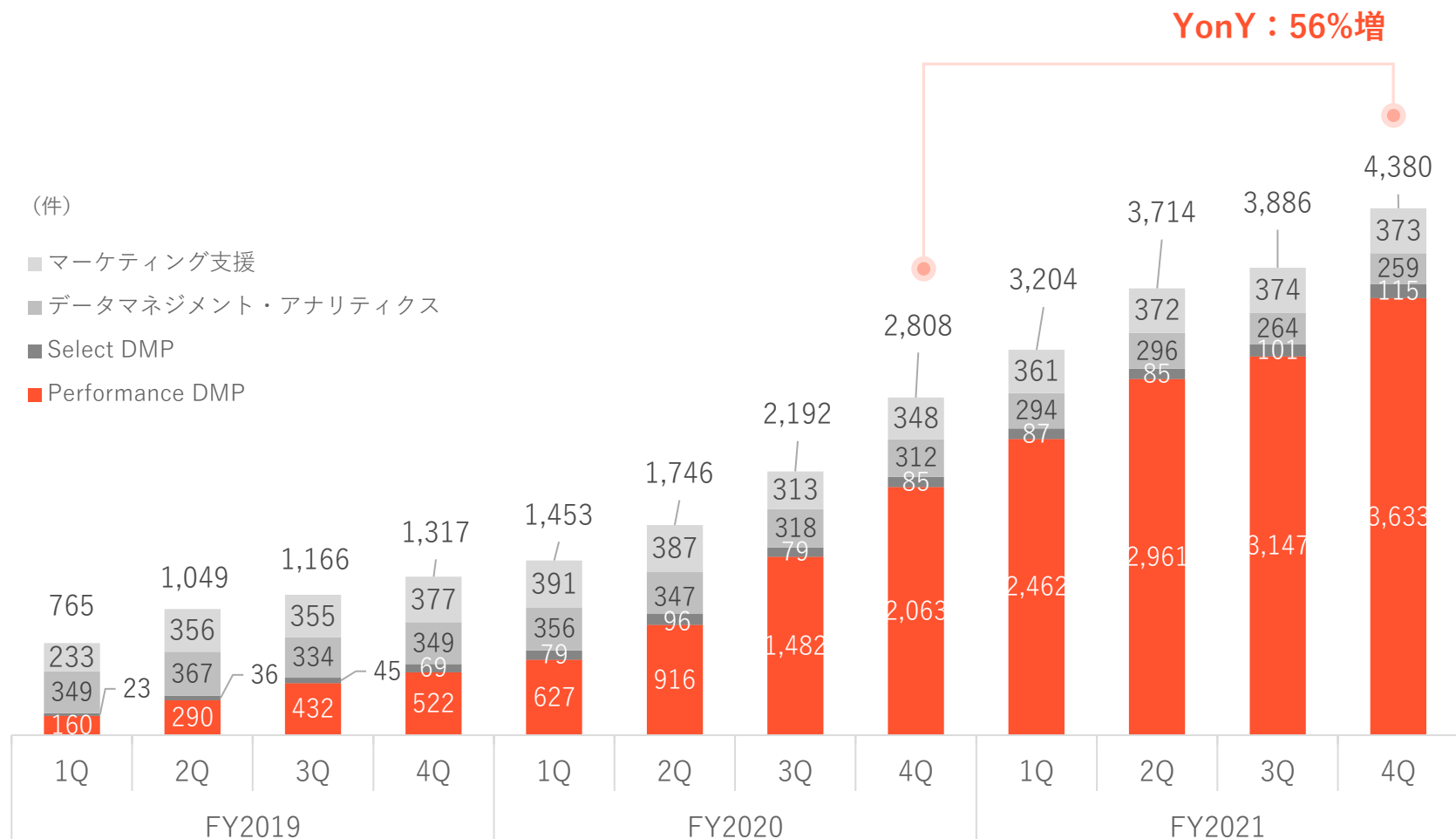
(百万円)

- マーケティング支援
- データマネジメント・アナリティクス
- Select DMP
- Performance DMP



アカウント数（四半期推移）

Q3で開発が完了した**ポストCookieソリューション**の引き合いが多く、**新規アカウント獲得、単価上昇の双方に貢献**。これにより、全体アカウント数も4,380件（YonY：56%増）と過去最高値を更新。



※1：1ヶ月の間に稼働したアカウントを単月アカウント数として、3ヶ月間の単月アカウント数の合計値

FY2022 Outlook

2022年9月期 通期業績予想

ポストCookieソリューションの拡販、X Tech(クロステック)領域の拡大を軸に、
売上高はYonY14.3%増加を見込む。新領域への投資も継続するため、経常利益はYonY27.7%減少。

(百万円)

	FY2021 実績	FY2022 予想	YonY	
			増減額	増減率
売上高	2,017	2,304	+287	+14.3%
営業利益	51	30	△21	△42.1%
(営業利益率)	2.6%	1.3%	—	△1.3%
経常利益	39	28	△11	△27.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	29	21	△8	△28.7%
(当期純利益率)	1.5%	0.9%	—	△0.6%

Q4 Topics

Q4トピックス

国内最大手のマーケティングリサーチ企業の株式会社インテージと連携。両社の保有するデータ、テクノロジー、ノウハウなどを**相互に活用し、データ共通基盤の構築・顧客提供を目指す。**

プレスリリース

POINT

ポストCookie関連提携

国内最大手のマーケティング
リサーチ企業の株式会社インテージと連携

IMとインテージ双方の強みを生かして、
ポストCookie時代の新たな共同サービス開発を
目指す

2021.10.18 プレスリリース

ポストCookie時代に向けてインテージと業務提携 デジタルマーケティングやデータマーケティング領域のサービス拡充

国内最大級パブリックDMPを提供するデータプラットフォームカンパニーの株式会社インティメート・マージャー（本社：東京都港区、代表取締役社長：薬島 亮次、以下IM）は、国内最大手のマーケティングリサーチ企業の株式会社インテージ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：樟垣 歩、以下インテージ）と業務提携契約を締結したことをお知らせします。本提携を通じて、両社の保有するデータ、テクノロジー、ノウハウなどを相互に活用し、データ共通基盤の構築・顧客提供を目指します。



2020年6月に成立・公布され、2022年4月1日に全面施行を迎える改正個人情報保護法や、SafariやChromeといったブラウザ提供会社の仕様変更により、3rd Party Cookieによるデータ取得・外部連携が困難になっていくことが予想されるなど、日本国内でも個人の権利のあり方や、事業者の守るべき責務が時代の流れとともに変化しています。

一方、企業においては、業種・業界を問わず、デジタルトランスフォーメーション（DX）が進展し、データに基づくスピード感のある意思決定、常に市場と生活者反応を確かめながら最適なマーケティングプランを立案・実行すること、生活者理解に基づく新たな顧客・課題発掘などの重要性が増しています。そのためにも、データを統合活用することは不可欠です。

そこで、IMとインテージは業務提携を行い、IMのポストCookieソリューションとインテージの同意取得済みの豊富なデータを活かし、個人の権利・利益を保護しながら、生活者より提供いただく情報の価値を生かせるような透明性の高いデータデリバリー手法の開発や新たな効果測定プロダクトの開発を共同で行う運びとなりました。そして、両社でポストCookie時代におけるクライアント企業へのマーケティングサービス拡充を実現していきます。

IMは国内最大級となる約4.7億件のオーディエンスデータ、並ならびにデータ活用コンサルティングなどの知見を、インテージは顧客のマーケティング活動支援に関する専門家としての知見、並びに生活者理解のためのデータを持ち寄り、今後は両社のソリューションを融合することで、ポストCookie時代のデジタルマーケティング領域、データテクノロジー領域において、お客様のデータ活用促進に寄与する共同サービスの開発を目指します。

リリース日：2021.10.18

IMのポストCookieソリューションとインテージの同意取得済みの豊富なデータを活かし、個人の権利・利益を保護しながら、生活者より提供いただく情報の価値を生かせるような透明性の高いデータデリバリー手法の開発や新たな効果測定プロダクトの開発

株式会社ジーニーと**ポストCookie時代に向けたターゲティング技術の提供を開始**。GMO様、ユナイテッド様に続き新たにジーニーが提供する「GENIEE DSP」「GENIEE SSP」とも連携開始。

プレスリリース

POINT

ポストCookie関連提携

「IM-UID」を「GENIEE DSP」「GENIEE SSP」と連携

IMのポストCookieの技術が ジーニー様の基盤技術として採用

2021.09.16 プレスリリース

ポストCookie時代に対応した広告配信技術をジーニーへ提供
共通IDソリューション「IM-UID」を「GENIEE DSP」「GENIEE SSP」と連携

国内最大級バリューDMPを提供するデータプラットフォームカンパニーの株式会社インテュート・マージャー（本社：東京都港区、代表取締役社長：奥島 秀次、以下当社）は、当社が提供する3rd Party Cookie を利用せずに、異なるドメイン間で3rd Party Dataを連携する共通IDソリューション「IM Universal Identifier（以下IM-UID）」と株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤智昭、以下ジーニー）が提供するDSP（Demand-Side Platform）「GENIEE DSP」、SSP（Supply-Side Platform）「GENIEE SSP」の連携を開始したことをお知らせします。



昨今、Webユーザーのプライバシー保護の高まりとともに、欧州では「GDPR（EU一般データ保護規則）」や「CCPA（カリフォルニア州消費者プライバシー法）」などによるデータ収集・活用の規制強化が行われています。また、AppleのブラウザであるSafariは2020年3月にITP（Intelligent Tracking Prevention）のアップデートにより3rd Party Cookieをブロックするほか、GoogleはChromeでの3rd Party Cookieサポート終了を2023年に延長することを発表しましたが実施自体には変わりはない方針を発表しています。これらの影響により、インターネット広告における広告配信や効果計測において、これまで活用されてきた3rd Party Cookieに代わる対策が早急に必要とされています。

これらの対策として、当社では3rd Party Cookieに依存しない共通IDソリューション「IM-UID」を2020年12月より提供開始し、GMOアドマーケティング株式会社やユナイテッドマーケティングテクノロジー株式会社から提供されるSSPやDSPと連携してまいりました。そしてこのたび、新たにジーニーが提供する「GENIEE DSP」「GENIEE SSP」とも連携を開始しました。

なお、共通IDソリューション「IM-UID」は、今後もSSPやDSPを提供している事業者と連携し、Ad Tech領域におけるポストCookie時代に対応していく予定です。



GMOアドマーケティング様、ユナイテッド様に続き、大手事業社の基盤技術にIMのポストCookieソリューションが採用され、パートナーは順調に拡大中

リリース日：2021.09.16

About Intimate Merger

会社概要・事業内容

会社名	株式会社インティメート・マージャー			
経営陣	代表取締役	築島 亮次		
	取締役	久田 康平	独立社外取締役	永田 暁彦
	取締役	村井 浩起	常勤監査役	石沢 美穂子
	取締役	佐伯 朋嗣	監査役	横山 幸太郎
	取締役	永井 秀輔	監査役	大杉 泉
設立	2013年6月			
所在地	東京都港区六本木3-5-27 六本木山田ビル4F			
事業内容	DMP（データマネジメントプラットフォーム）事業			
決算期	9月			
従業員数	41名（2021年9月末時点）			
グループ会社	クレジットスコア株式会社（連結子会社）			
	Priv Tech株式会社			
加盟団体	一般社団法人 日本インタラクティブ広告協会（J I A A）			

2013年6月	株式会社フリークアウト（現「株式会社フリークアウト・ホールディングス」以下同様）と株式会社Preferred Infrastructureの合併にて株式会社インティメート・マージャーを設立。
2015年3月	Googleの運営するDSPサービスと連携を開始。
2018年7月	B2B向けリードジェネレーションツール「Select DMP」の提供を開始。
2019年1月	成果報酬型ディスプレイ広告運用サービス「Performance DMP」の提供を開始。
2019年10月	東証マザーズ上場
2020年3月	株式会社ベクトルとの合併にてPriv Tech株式会社を設立
2020年3月	株式会社新生銀行との共同事業を行うクレジットスコア株式会社を設立
2020年11月	株式会社フリークアウト・ホールディングスとの親子関係を解消

プロフィール

1984年4月生まれ。投資家の祖父と児童心理学の研究をしていた母のもと、「定量的な成果」に拘る学生時代を過ごす。「社会人3年後に起業する」と志し、グリー株式会社に入社。更なるデータ活用ビジネスを志向し、株式会社フリークアウトへ。Googleのレイ・カーツワイル氏が2020年に起きると予測している「あらゆるデータがひとつに統合される」という革命「**インティメート・マージャー**」を冠した当社を創業。データサイエンティストというアカデミックな視点と経営者としてのビジネスの視点から、さまざまな業界の課題解決をデータ活用にて支援している。



代表取締役社長

築島亮次

(Ryoji Yanashima)

経歴

- **2010年1月**
：世界最大級の統計アルゴリズムコンテストRSCTC2010DiscoveryChallenge世界3位
- **2010年3月**
：慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科を首席卒業
- **2010年4月**
：グリー株式会社入社（プラットフォーム開発に関連する複数の部門でマネジャーを兼務）
- **2012年12月**
：株式会社フリークアウト入社
- **2013年6月**
：インティメート・マージャーを創業

幅広い業種・業界に多様なサービスを提供。



Mission

データ活用における革命を起こす

データによる"意思決定"はシンプルで、とても効率のよいものだと考えています。
この仕組みを確立して世の中に広めたいという想いから創業しました。

世界中で3rd Party Cookieに対する規制が始まっており、**ポストCookie時代へ**。
新たなツールの開発が業界内で必須となる。

○ 2018年5月→



欧州でGDPRが施行

(GDPR = EU一般データ保護規則)

○ 2020年1月→



Google社が段階的に 廃止を発表

Webブラウザ「Google Chrome」の
3rd Party Cookie サポート

○ 2020年6月→



改正個人情報保護法 が成立

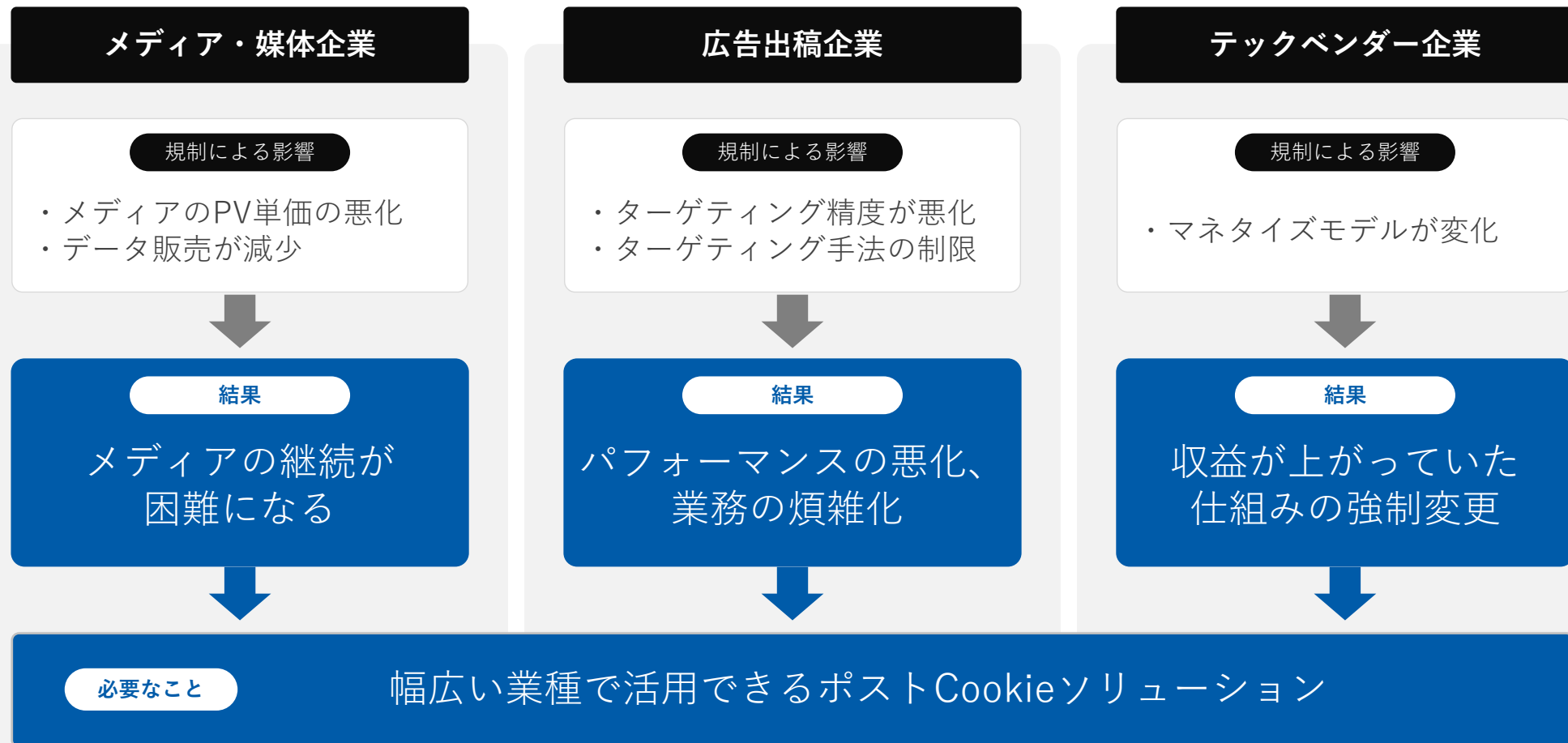
世界各国で3rd Party Cookieを規制する動きがあり、各企業で変革が迫られている

Cookieの技術は現行のほとんどのWeb関連ツールで活用されており、幅広い業種・企業において変化が求められる。

主要なWeb関連ツール				
	リターゲティング	アクセス解析	MA <small>(マーケティングオートメーション)</small>	CDP <small>(カスタマーデータプラットフォーム)</small>
3rd party cookie	 利用不可	 利用不可	 利用不可	 利用不可
1st party cookie	 利用不可	 iOSで制限あり	 iOSで制限あり	 iOSで制限あり

海外企業では既にCookieに変わる新たな技術が開発・活用されはじめており、日本もここ数年で必ず必要となる

メディア運営企業、広告出稿企業ともに、3rd Party Cookie規制の強化によるデメリットが想定され、当社は課題に対し**国内でいち早くソリューションを開発・実装化**を進める。



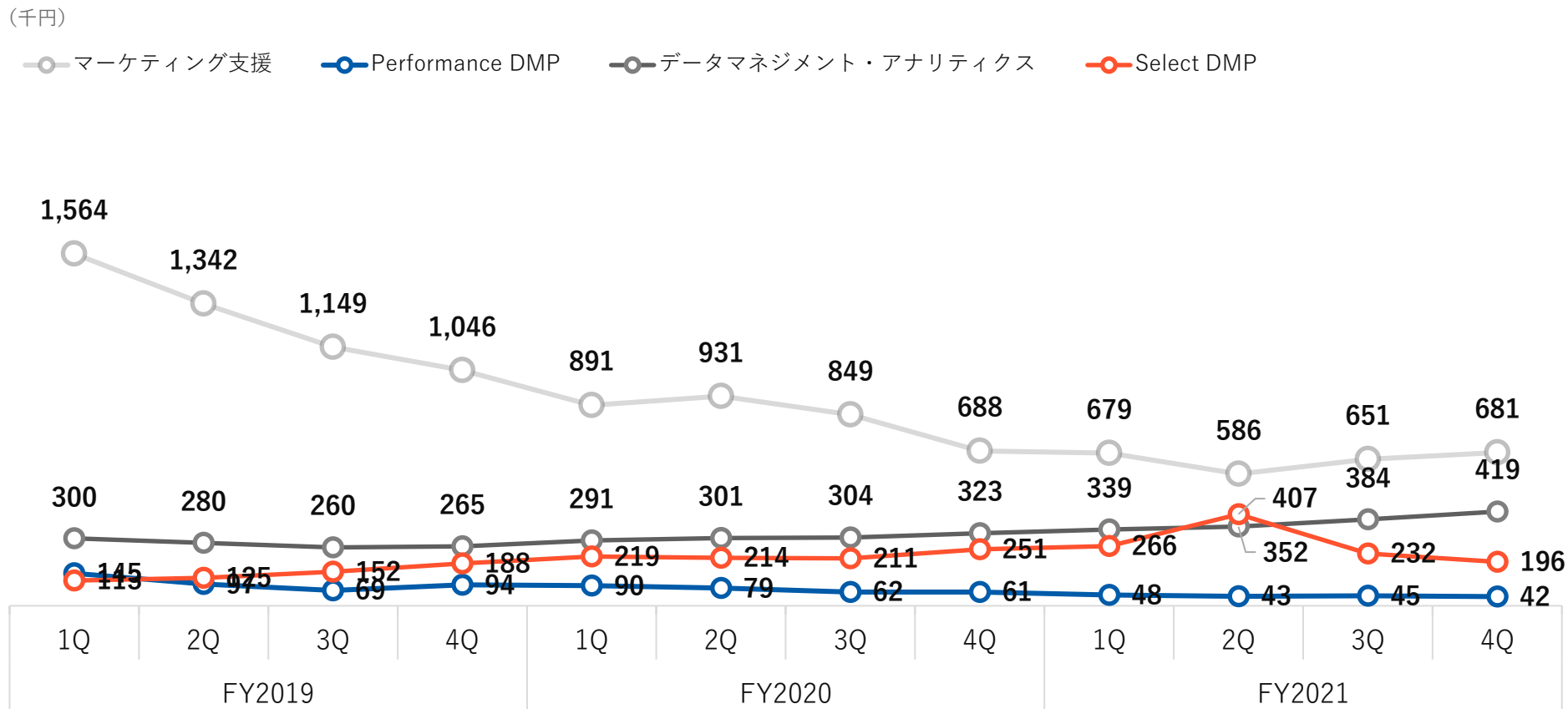
将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 当社株式の募集及び売出しに応募される際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書（及び訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

Appendix

参考資料

平均単価（四半期推移）^{※1}

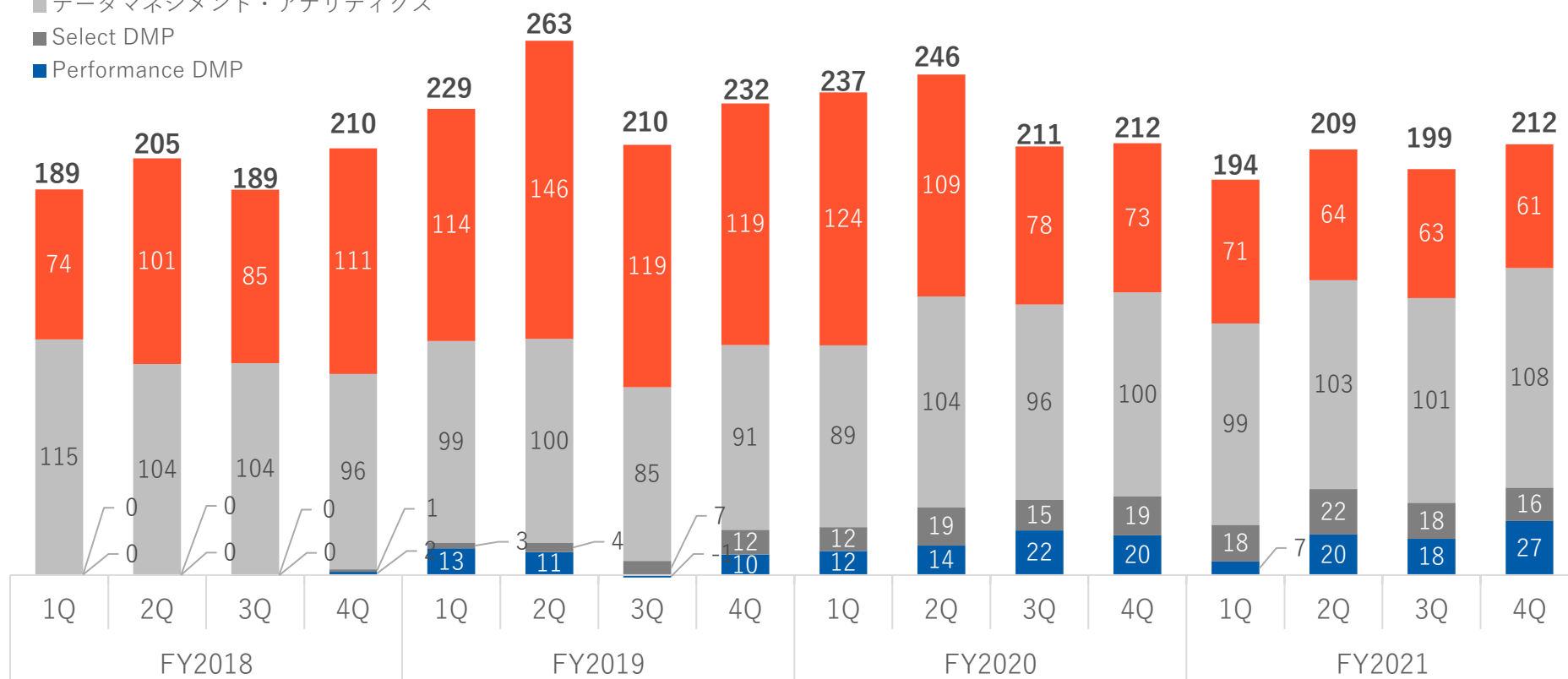


※1：四半期累計売上高を四半期累積アカウント数で除した数値

ソリューション別限界利益 ^{※1} (四半期推移)

(百万円)

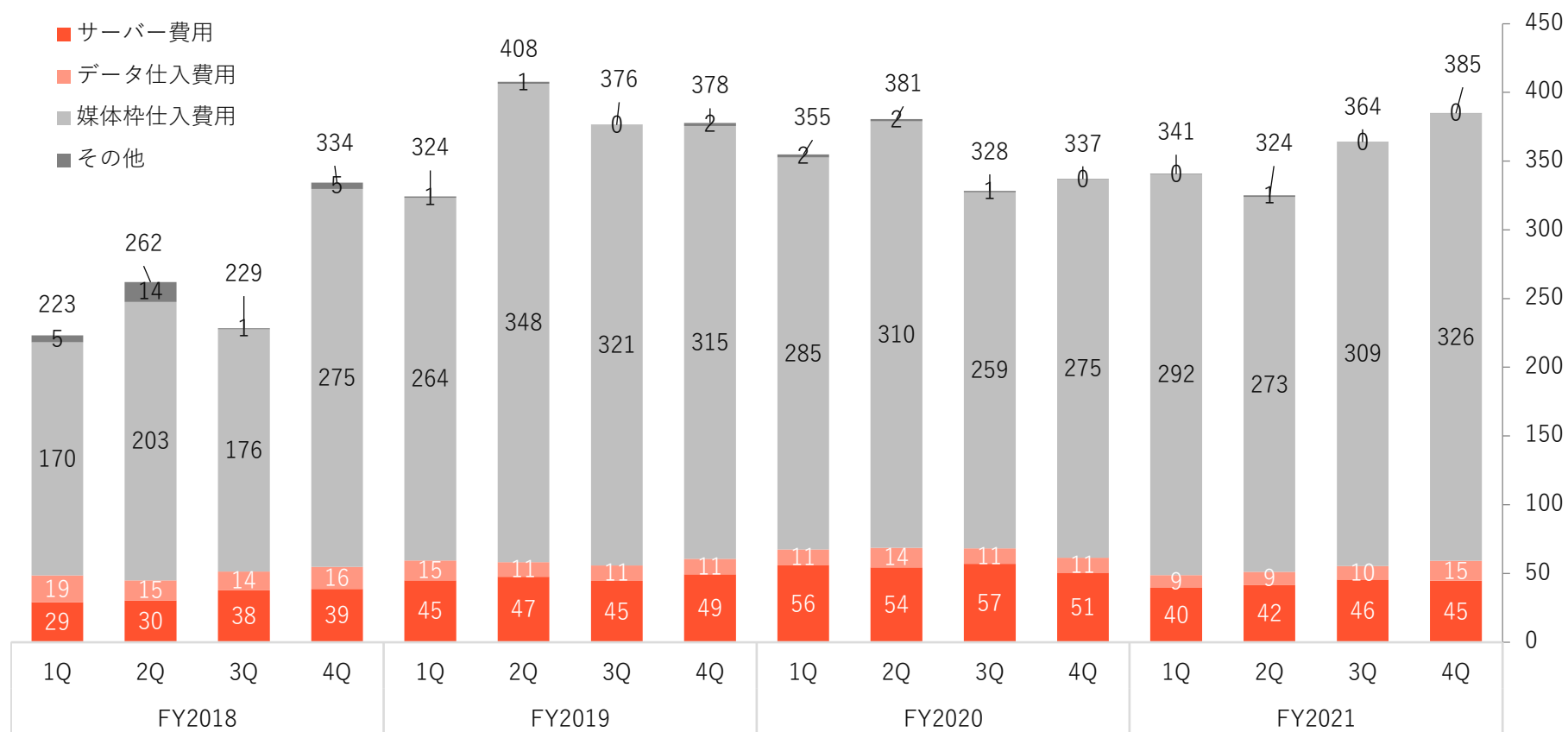
- マーケティング支援
- データマネジメント・アナリティクス
- Select DMP
- Performance DMP



※1：売上高から、個別の売上に紐づく変動原価（主に媒体枠仕入費用）を差し引いた数値

(百万円)

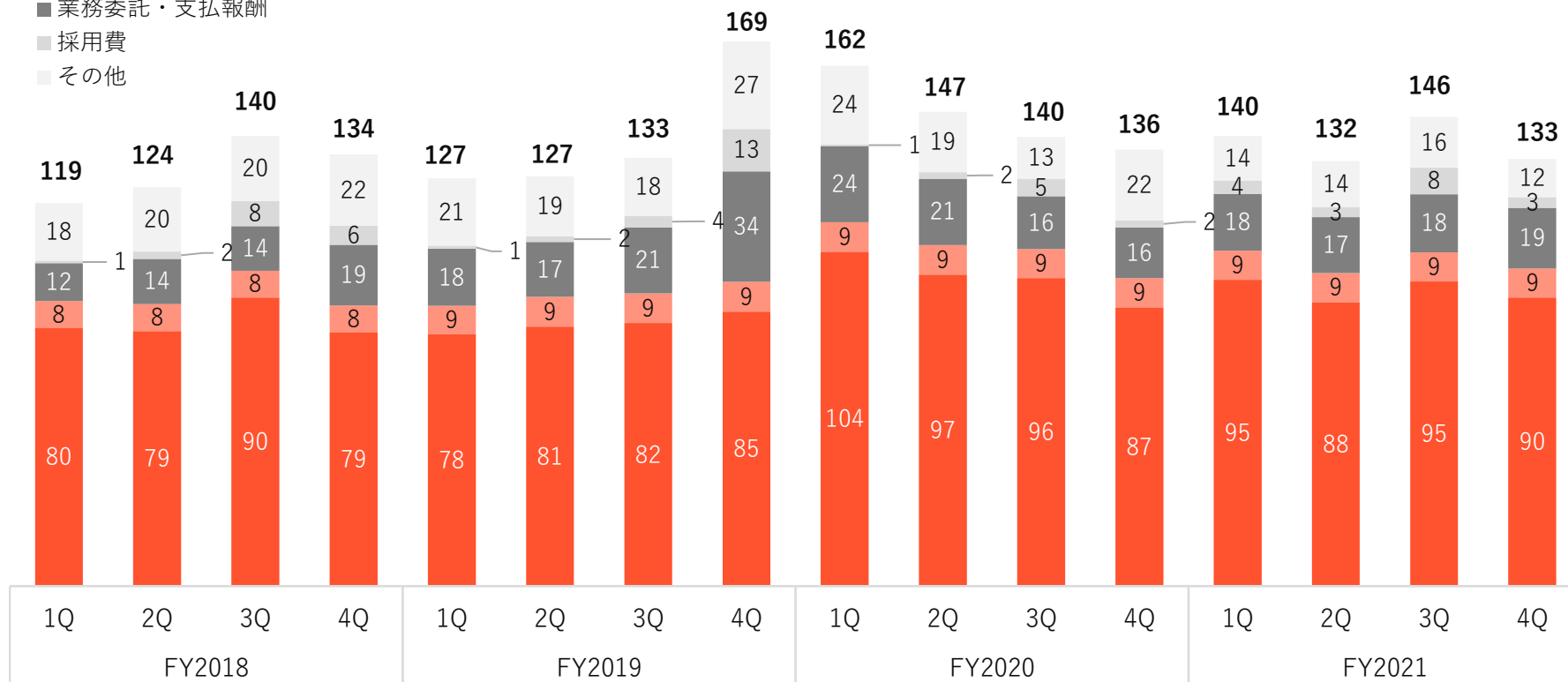
- サーバー費用
- データ仕入費用
- 媒体枠仕入費用
- その他



連結販売管理費（四半期推移）

(百万円)

- 人件費
- 家賃・水道光熱費
- 業務委託・支払報酬
- 採用費
- その他



(百万円)

		FY2020 4Q 2020年9月末	FY2021 4Q 2021年9月末	QonQ	
				増減額	増減率
資産	流動資産	1,515	1,689	+174	+11.5%
	現金及び預金	1,168	1,350	+182	+15.7%
	固定資産	95	65	△30	△31.4%
	有形固定資産	11	9	△2	△12.2%
	無形固定資産	2	1	△1	△31.5%
	投資その他の資産	82	54	△28	△34.0%
	合計	1,611	1,755	+144	+8.9%
負債及び純資産	負債	380	440	+60	+15.7%
	借入金	100	100	-	-%
	純資産	1,231	1,314	+83	+6.8%
	合計	1,611	1,755	+144	+8.9%